



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日本金属株式会社

上場取引所 東

コード番号 5491

URL <http://www.nipponkinzoku.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 平石 政伯

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 伊藤 泰正

TEL 03-5765-8105

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	28,657	△1.9	△73	—	△294	—	△289	—
25年3月期第3四半期	29,215	△7.5	281	△60.2	76	△81.5	△1	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 10百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △82百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△4.33	—
25年3月期第3四半期	△0.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	56,798	15,165	26.7	226.51
25年3月期	55,382	15,156	27.4	226.36

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 15,165百万円 25年3月期 15,156百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,100	2.7	560	391.3	170	—	190	—	2.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	67,000,000 株	25年3月期	67,000,000 株
26年3月期3Q	47,064 株	25年3月期	44,768 株
26年3月期3Q	66,953,988 株	25年3月期3Q	66,955,647 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国や東南アジアの景気に減速感があるものの、米国景気は堅調に推移し、欧州景気にも回復の兆しがみられました。国内においても、金融緩和などの積極的な政策の波及効果による実体経済の回復とともに、消費税増税前の駆け込みや、2020年の東京五輪開催決定による首都圏不動産市況の回復への期待などで、自動車や建築・住宅市場での需要が拡大しています。

ステンレス業界においては、中国・東南アジアの市況の回復は遅れているものの、住宅・建材向けや輸出を含む自動車向けの需要は拡大しており、市況価格にも上昇の兆しが見られます。

当社グループは、このような状況のもと、第3四半期（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）において、モバイル機器向けマグネシウム合金帯や、自動車向けを主体とした高精度異形鋼及びステンレス・特殊鋼の販売増量などにより、売上高及び損益において第2四半期（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）に比べ回復してきております。しかしながら、上半期の業績マイナスが大きかったこと及びタイ、マレーシアでの海外新事業の立ち上がりが遅れた影響により、前年同期と比べ業績はマイナスしております。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ5億5千8百万円減収の286億5千7百万円となりました。損益面につきましては、営業損益は、前年同期と比べ3億5千5百万円減益の7千3百万円の損失となり、経常損益は前年同期と比べ3億7千1百万円減益の2億9千4百万円の損失となり、四半期純損失は、前年同期と比べ2億8千8百万円損失増の2億8千9百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント毎の業績は、次のとおりであります。

① みがき帯鋼部門

みがき帯鋼部門では、ステンレス鋼帯において、国内外の自動車メーカー向け受注が拡大しており、また注射針及びIT関連向けの需要も回復しております。みがき特殊帯鋼においては主力の自動車向けが増加し、マグネシウム合金帯においてはモバイル機器向け極薄板が増加するなど、みがき帯鋼部門全般で当第3四半期連結会計期間の売上高は堅調に推移いたしました。また、部門利益は、当第3四半期連結累計期間としてはまだ損失があるものの、第3四半期（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）においては黒字に転換いたしました。その結果、みがき帯鋼部門の売上高は、前年同期と比べ7億3千万円（3.1%）減収の230億9千8百万円となり、営業利益では、前年同期と比べ4億2千3百万円（69.7%）減益の1億8千4百万円となりました。

② 加工品部門

加工品部門では、本格量産を開始した新事業の自動車部品用高精度異形鋼の増販及び水処理関連の型鋼製品拡販に加え、自動車用配管向け小径厚肉管の売上げも堅調に推移しております。また、タイ王国に増設した加工品工場での量産化が開始され順調に稼働しており、現在、新規拡販品の生産体制を進めております。その結果、加工品部門の売上高は、前年同期と比べ1億7千2百万円（3.2%）増収の55億5千8百万円となったものの、営業利益は、前年同期と比べ0百万円（0.2%）減益の4億3千2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ14億1千7百万円増加の567億9千8百万円となりました。流動資産は、16億7千7百万円増加の251億4千6百万円となりました。現金及び預金は、短期及び長期借入金純額で1億9千2百万円減少したこと等により1億5千万円減少いたしました。受取手形及び売掛金は、前第4四半期連結会計期間（平成25年1月1日から平成25年3月31日まで）に比べ売上高が増加したことにより15億4千3百万円増加いたしました。流動資産のその他は、主に繰延税金資産が3億4千7百万円増加（長期の繰延税金資産は6億万円減少し、繰延税金資産は合計で2億5千2百万円減少）したことにより3億5千4百万円増加いたしました。固定資産は、2億6千1百万円減少の316億5千2百万円となりました。これは主に、有形固定資産が4千4百万円増加し、また投資その他の資産は株価上昇により投資有価証券が2億8千6百万円増加したものの、長期の繰延税金資産が6億円減少したこと等により3億8百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ14億6百万円増加の416億3千3百万円となりました。流動負債は46億7百万円増加の283億9千1百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が19億4千8百万円増加し、短期借入金が29億2千2百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ32億円減少の132億4千1百万円となりました。これは主に、長期借入金が31億1千4百万円減少し、退職給付引当金が1億3千7百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ9百万円増加の151億6千5百万円となりました。株主資本は、利益剰余金が減少したことにより2億9千万円減少いたしました。その他の包括利益累計額は、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が2億6百万円増加したこと、円安の進行により為替換算調整勘定が8千9百万円増加したこと等により、2億9千9百万円増加いたしました。

以上の結果、当連結会計期間末の自己資本比率は、26.7%（前連結会計年度末 27.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、中国や東南アジアの景気に減速の兆しがあるものの、欧州については回復基調にあり、国内及び米国の景気は堅調に推移しました。

第4四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）以降につきましては、中国をはじめとする新興国の景気不安などのリスクはあるものの、欧米先進国及び国内の景気は堅調に推移する見通しです。

このような環境のもと、当社グループは国内及び海外での新事業と販売の拡大、継続的なコストダウンによるコスト体質強化、新設備導入や既存設備改善による品質と生産性向上などの活動をさらに徹底してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,028	3,877
受取手形及び売掛金	10,023	11,567
商品及び製品	3,995	3,686
仕掛品	3,700	3,894
原材料及び貯蔵品	1,127	1,171
その他	654	1,009
貸倒引当金	△61	△61
流動資産合計	23,468	25,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,112	4,076
機械装置及び運搬具(純額)	5,649	6,014
土地	16,454	16,460
その他(純額)	1,867	1,576
有形固定資産合計	28,083	28,128
無形固定資産	154	156
投資その他の資産		
投資有価証券	2,201	2,488
その他	1,524	917
貸倒引当金	△51	△38
投資その他の資産合計	3,675	3,367
固定資産合計	31,913	31,652
資産合計	55,382	56,798
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,448	11,396
短期借入金	11,975	14,898
賞与引当金	256	80
その他	2,103	2,015
流動負債合計	23,783	28,391
固定負債		
長期借入金	11,362	8,248
再評価に係る繰延税金負債	3,533	3,533
退職給付引当金	1,269	1,131
その他	277	328
固定負債合計	16,442	13,241
負債合計	40,226	41,633

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,857	6,857
資本剰余金	986	986
利益剰余金	1,493	1,203
自己株式	△8	△9
株主資本合計	9,328	9,037
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	515	721
繰延ヘッジ損益	△3	—
土地再評価差額金	5,357	5,357
為替換算調整勘定	△41	48
その他の包括利益累計額合計	5,828	6,127
純資産合計	15,156	15,165
負債純資産合計	55,382	56,798

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	29,215	28,657
売上原価	25,090	25,057
売上総利益	4,125	3,599
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	704	730
役員報酬及び給料手当	1,714	1,603
賞与引当金繰入額	23	21
退職給付費用	116	87
減価償却費	171	152
貸倒引当金繰入額	△44	△7
その他	1,157	1,085
販売費及び一般管理費合計	3,843	3,673
営業利益又は営業損失(△)	281	△73
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	46	44
受取賃貸料	47	92
スクラップ売却収入	36	39
その他	66	32
営業外収益合計	198	210
営業外費用		
支払利息	180	166
退職給付費用	192	192
その他	29	72
営業外費用合計	403	432
経常利益又は経常損失(△)	76	△294
特別利益		
固定資産売却益	9	2
投資有価証券売却益	26	228
会員権売却益	—	1
特別利益合計	35	232
特別損失		
固定資産除却損	30	13
投資有価証券評価損	34	—
会員権評価損	8	1
その他	—	0
特別損失合計	73	15
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	38	△78
法人税、住民税及び事業税	57	48
法人税等調整額	△18	163
法人税等合計	39	211
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1	△289
四半期純損失(△)	△1	△289

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△1	△289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113	206
繰延ヘッジ損益	4	3
為替換算調整勘定	26	89
その他の包括利益合計	△81	299
四半期包括利益	△82	10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△82	10
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。